

2020年10月5日

各位

会社名 ソレイジア・ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒井好裕
(コード番号：4597 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 宮下敏雄
電話 03-5843-8049

日本癌学会学術総会における当社開発品 **SP-02 (ダリナパルシン)** の 成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) に対する非臨床研究結果発表のお知らせ

この度、当社開発品 **SP-02** (新規抗がん剤、国際一般名：darinaparsin、一般名：ダリナパルシン) の成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) の治療薬としての可能性を検討するための非臨床研究の結果について、2020年10月1日～3日に開催された「第79回日本癌学会学術総会」にて発表されましたので、お知らせいたします。

【バーチャル口頭発表】

抄録番号： OJ18-1-4

発表演題： 成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 細胞に対する新規治療薬 **Darinaparsin** の効果の検討とその作用機序解明の試み

東京大学大学院及び聖マリアンナ医科大学の研究グループ (渡邊俊樹教授ら) は、**SP-02** について ATL 細胞及びヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 感染細胞に対する選択的細胞死誘導効果の検討及び作用機序の解明を目的とした研究を進めており、これまでに得られている結果をまとめた演題「成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL) 細胞に対する新規治療薬 **Darinaparsin** の効果の検討とその作用機序解明の試み」が、第 79 回日本癌学会学術総会の一般演題 (口演) にて発表されました。本研究により、ATL 細胞株、HTLV-1 感染細胞株及び ATL 患者検体において **SP-02** の細胞障害活性が認められ、**SP-02** が新規の ATL 治療薬となりうる可能性が示唆されました。

SP-02 は、種々の血液がん及び固形がんの治療のために開発が進められてきた新規のミトコンドリア標的薬剤 (有機ヒ素化合物) です。再発又は難治性の **PTCL** 患者を対象に、日本、韓国、台湾及び香港にて実施された第 II 相最終臨床試験において、本年 6 月に主要評価項目を達成し、現在承認申請の準備を行っております。

ソレイジア・ファーマ代表取締役社長 荒井好裕コメント：

「ATL 研究の世界的権威である渡邊俊樹教授のグループから、ダリナパルシンの ATL に対する治療効果の検討結果の第一弾が発表されたこと、大変嬉しく思います。ダリナパルシンは、ミトコンドリアを介した腫瘍細胞アポトーシスが主な作用機序と考えられていますが、本研

Solasia

究により更に詳細な作用機序の解明が進むと共に、ATL 治療にも貢献できる可能性を見出せることを期待しています。」

なお、本件による当期業績予想への影響はなく、その変更は行いません。

以上

注意事項：

このプレスリリースに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品又は医療機器（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。